



福寿川をきれいにしたい!!

羽幌地区環境計画町民会議

7月3日、昨年に引き続き羽幌地区環境計画町民会議でカキ貝殻をバラ園の裏側の福寿川に設置しました。

カキ貝殻の表面にはギザギザが多く、その隙間に微生物が住み着き川の汚れを食べて水質を浄化すると言われています。

今年も佐呂間漁協からカキ貝殻約8トンを無償で譲り受け、地元エビカゴ漁師からカゴ網をいただきました。

袋詰め作業は6月25・26日に町民会議メンバーや一般町民、北海道海鳥センタージュニアレンジャーなど延べ40人の方が貝殻の大きな山を制覇しました。

7月2日にはバラ園の裏に貝殻を運び、イカダを組みました。3日は朝から貝殻の袋をイカダに乗せ、川底に固定するロープに一個づつ紐でつなぎ沈め、作業は5時間ほどで約300個のカキ貝殻の設置を終えました。

福寿川の川底には30cmほどの厚さにヘドロが堆積し、川の中で作業するメンバーが足をとられる場面もあり、参加者は真っ黒なヘドロを見て福寿川の汚れを再認識しました。

川の汚れの8割は家庭からの生活排水が原因と言われています。町民会議では合成洗剤から環境にやさしい「せっけん」へ替える運動をしています。使用済みの天ぷら油からも作ることが出来ます。

環境を良くする運動を、町民の皆さんと一緒に、「自分の出来るところから、出来る時からすこしづつ始めて行きたい」と思います。あなたも、今からでも一人からでも出来ます。ちょっとだけ自分のまわりの環境に目を向けてみませんか。それが未来の子どもたちへ、素敵な環境を残して行けるカギだと思います。



ビオトープ公園

自然空間はぼろ

造成作業ただいま進行中!

完成予想図

全ての完成は10年後を予定しています

オロちゃんランド方面



みなさんも一緒に作りませんか?
お問い合わせは北海道海鳥センターへ (☎ 69-2080)



羽幌みんなで作る自然空間協議会では花王・みんなの森づくり活動事業と河川整備基金からの助成が決定しました。助成金額は30万円と50万円ですが、町内各団体・企業や個人からの寄付も寄せられるようになり造成作業が進んでいます。

造成現場では連日ボランティアの手で土木重機を使い作業用道路づくりや水田側へ病害虫が入らないための緩衝地帯づくりが進んでいます。

また、子どもたちがジャブジャブ水遊びが出来る、ほっかいどう池では中学生のボランティアグループが休日を利用してスコップを手に砂入作業を手伝っています。

環境計画町民会議へのご意見をお待ちしています。事務局(町民課自然環境担当)へご連絡ください。
☎ 62-1211(内線105) Eメール: choumin@town.haboro.hokkaido.jp